

1. 名切地区まちづくり構想の策定にあたって

〈構想策定の背景と目的〉

- 中央公園から旧花園中学校に至る一帯のエリアには、図書館、武道館、市民会館などが連続して立地しています。
- 広く市民に親しまれてきたこの中央公園を中心とした一帯が一般的に「名切」と呼称されていることから、本構想の対象地域を「名切地区」と定義しました。
- 当エリアに立地する老朽化した施設のリニューアルや、利用を廃止した施設の跡地の利活用など個々の施設の再整備のあり方を検討するにあたり、地区全体の土地利用などの方針を整理することとしました。

名切地区まちづくり構想策定の目的

- 名切地区の将来像を示すものです
- 各種公共施設の整備などを進める上での基本的な方針となるものです
- 市民協働・官民連携の指針となるものです

2. 名切地区まちづくり構想の基本的な考え方

名切地区の特性と役割

名切地区の歴史	「市民がつくる、市民の公園」として市民と共に歩んできた名切地区 教養・スポーツ・憩いの場として長く市民に親しまれてきた名切地区
名切地区の現状	中心市街地において豊かな自然とふれあうことができる象徴的な名切地区 中心市街地において市民の安全に資する役割を担う名切地区
名切地区の役割	中心市街地の拠点性の向上に寄与する名切地区 憩いと交流の場として魅力向上を図る名切地区

名切地区整備に向けた課題とニーズ

環境の変化	中心市街地の賑わい創出への寄与 教育・文化・スポーツなど、この地区が有すべき機能の整理・再編
交通アクセス	地区北側における公共交通アクセスの改善の検討 自家用車利用者への配慮
市民ニーズ 市民意識	防災機能の確保及び防犯性の向上への配慮 市民が公園運営に関われるような仕組みづくり
社会情勢	民間活力導入の可能性検討

〈基本理念〉

佐世保を象徴する場所として『憩い』と『交流』を創出する拠点づくり

～楽しむ人、楽しめる環境を育てる～

〈基本方針〉

- ①市民とともにつくる名切地区
- ②緑の空間で安らげる名切地区
- ③安全で安心して利用できる名切地区
- ④多様性をもった名切地区
- ⑤気軽に訪れやすい名切地区
- ⑥新たな拠点としての名切地区

3. 名切地区まちづくり方針

〈土地利用の方針〉

公益利用ゾーン

- 名切地区全体の課題解決
北側のエリアにおける公共交通によるアクセス性の向上や全体の防災・防犯機能など名切地区の課題などの解決に資する土地利用の検討
- 貴重な公有地としての公益的土地活用
都市公園に立地できない公益性の高い土地利用の検討

スポーツゾーン

- スポーツ機能の集約と強化・充実
核となる県立武道館・弓道場を中心としたスポーツ機能の強化・充実
- 来訪者への休息憩い空間の提供
競技者や応援等の観覧者など来訪者の憩いや休息の場としての活用



自然レクリエーションゾーン

- 豊かな自然環境の保全と調和
中心市街地における貴重な自然環境として、名切地区を特徴づける自然景観の保全
- 憩いとアクティビティ空間の形成
起伏に富んだ空間において近隣の都市公園にはない街中で自然を感じることが出来る空間としての活用

交流・文化ゾーン

- 中心市街地におけるにぎわいの創出
周辺の文化施設の来訪者の相互利用や交流を促進する施設や、多様なイベントに対応できる施設の整備など新たな交流拠点としての土地利用の検討
- 中心市街地の拠点性の向上
多様な市民が利用する交流施設や本市に不足する機能をもった施設整備の検討

4. 名切地区まちづくり構想の実現に向けて

〈構想の実現に向けた考え方〉

- 名切地区まちづくり構想は、名切地区を将来世代へ引き継いでいくという観点から、時代を超えた普遍性をもった構想として、これらからの名切地区のあり方や整備方針などについて、長期的な視点で取組むべき方向性を示したものです。
- 今後の具体的な施設の整備や跡地活用については、この構想の考え方に基づき、優先順位や財政状況などを勘案しながら進めていきます。